

東日本大震災支援活動報告書

活動場所

岩手県下閉伊郡山田町

活動日時

5月12日（木）～15日（日）

（実質活動日 5月13日（金）、14日（土））

実地場所：13日 山田町立船越保育園

岩手県下閉伊郡山田町船越第6地割53-35

14日 岩手県立山田高校

岩手県下閉伊郡山田町織笠第8地割6番地2号

参加者：水野由久、安田雄哉、吉田友和、門脇正幸、岸野勝矢、星山君泰、森原真、
藤田直也 計8人

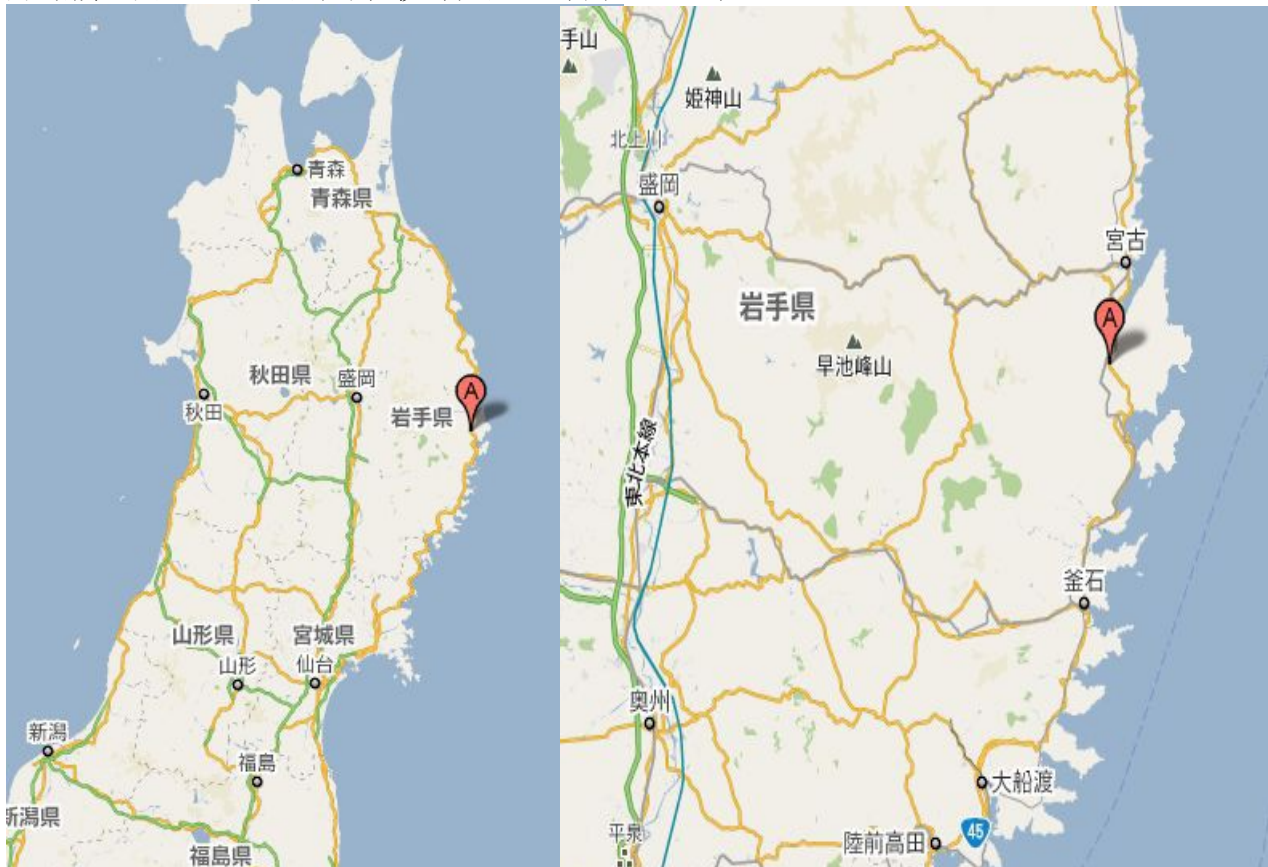
支援内容：13日・・・アニメ映画上映

炊き出し（ホットドック、ポップコーン、コンソメスープ 各
500食）

14日・・・アニメ映画上映

炊き出し（きな粉餅、磯部焼き、ポップコーン、コンソメスー
プ、お茶 各500食）

活動場所地図・・・岩手県下閉伊郡山田町（下記A地点）



5月12日（木曜日）4時30分・・・水野商事㈱集合・荷物積み込み

5時20分・・・門脇茶屋マイクロバスにて出発



21時50分・・・盛岡到着 走行距離 約1500km 所要時間 16時間30分

前日の大雨で鳥取自動車道も通行止めになっていた為、津山ICより中国自動車道に入る。

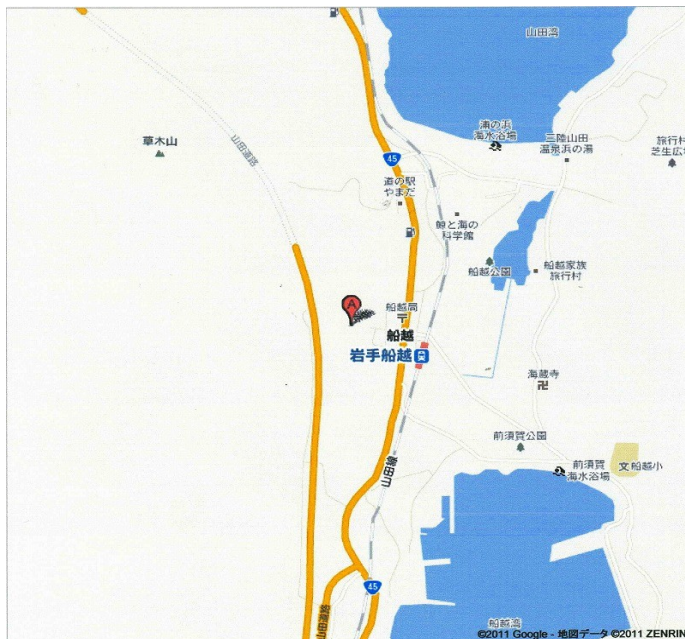
中国自動車道（津山IC）→名神高速（米原JCT）→北陸自動車道（新潟中央JCT）→磐越自動車道（郡山JCT）→東北自動車道（盛岡）



5月13日（金曜日）5時30分・・・盛岡市より山田町へ出発 片道113km



山田町立船越保育園（下記A地点）



盛岡市より峠道を越えての移動でしたが、盛岡市内は電力消費を少なくする為、各施設の照明が抑え目になっているが、道中は風景も普段どうりに見え、途中のコンビニでも商品の配送も回復している様でした。しかし、宮古市の海岸線に近づくと風景は一転し、津波被害を受けた場所と、免れた場所との違いを、まざまざと感じさせられました。

下記の写真で植物が黄色く枯れている所は、おそらく津波が到達し海水を被った事により塩害の結果として枯れてしまったと考えられます。また、5 mはあると思われる堤防の分厚い鋼鉄製の門も津波の力により捻じ曲げられ、所々堤防の損傷が目立ちました。



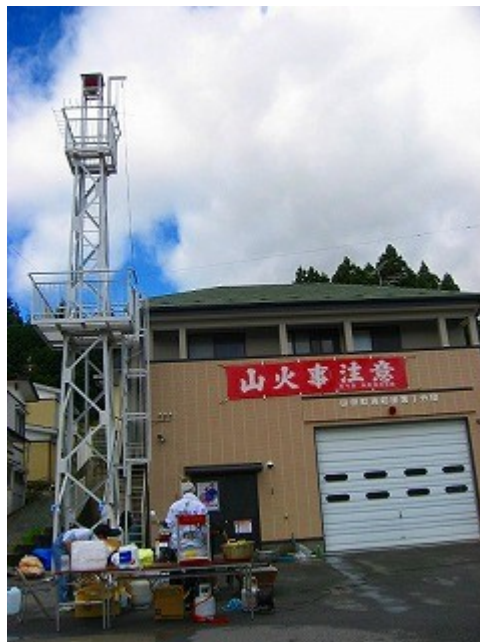
山田町に入ると更に津波被害が大きいと感じました。火災の跡もありました。

震災から2ヶ月経ち重機による解体作業も進んでいると思われますが、それでも衝撃的な景色でした。



8時25分・・・山田町立船越保育園到着

挨拶の後、保育園では映画上映の準備、炊き出しは50mほど横にある消防団建物の前で準備を開始しました。



10時00分・・・映画上映開始



11 時 30 分・・・炊き出し開始

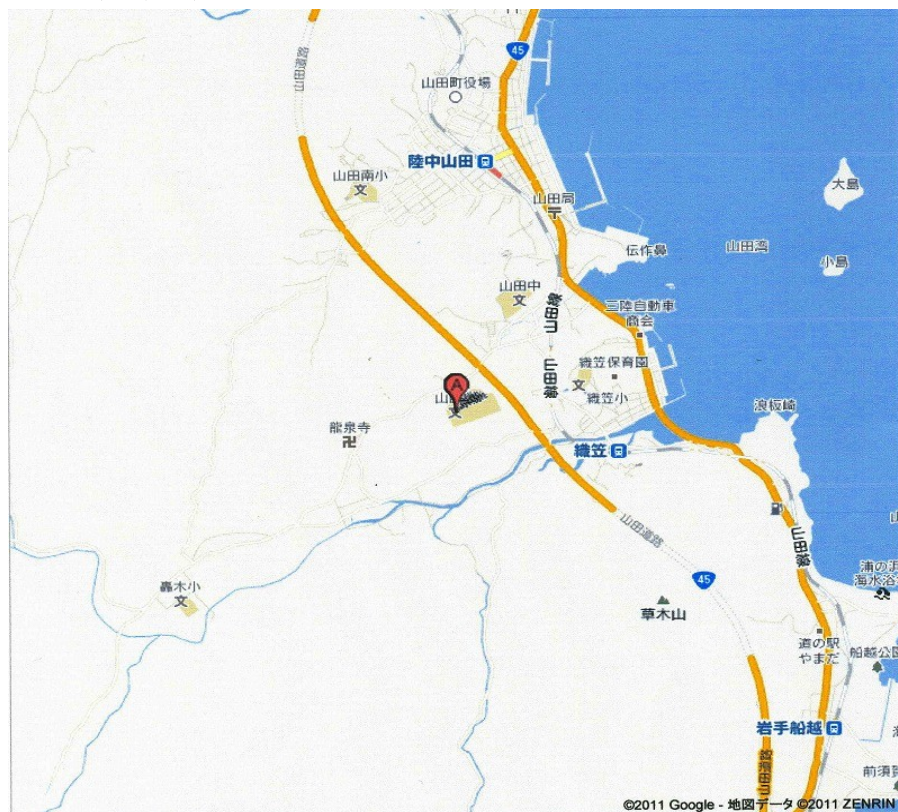


1 時間程度で予定数の 5 0 0 食を配り終え、片付けが終了する頃には、14 時から行われる配給の為、自宅避難民の方々が再び消防団建物前に集まっておられ、温かい拍手とお礼の言葉に包まれて船越を出発しました。準備をしている時に様子を見に来られた方は話の中で「ボランティアセンターの下にある「介護老人保健施設シーサイドかる」で働いておられた息子さんが津波に流された・・・」と悲しそうに話しておられました。本当に大変な想いをされておられる中、私達を温かく迎えて頂き感謝の気持ちで一杯でした。その後、翌日の現場の山田高校の下見とボランティアの担当の方に挨拶をし、盛岡市に出発しました。



18 時 00 分・・・盛岡市到着

5月14日（土曜日）5時15分・・・盛岡市より山田町へ出発（前日と同じルート）



8時10分・・・岩手県立山田高校到着

挨拶の後、高校の道場にて映画上映の準備、避難所となっている体育館横にて炊き出し準備開始



10 時 00 分・・・映画上映開始



高校の道場は普段は子供の遊び場や、物資置き場になっているようで映画上映の準備をしている時は子供達は道場に集まって元気一杯に遊んでいました。当日が土曜日という事もあってか家族で外出する方たちが多く、上映開始時には朝集まって遊んでいた子供たちの人数が半分くらいになってしまったので、準備が出来次第上映していれば、もっと多くの子供たちに見てもらえたかもしれませんでした。

12 時 00 分・・・炊き出し開始



14 時 30 分・・・炊き出し終了・片付け開始

15 時 00 分・・・片付け終了後、避難所となっている体育館ステージにて被災者の方々に挨拶



避難所では1区画が2畳程のスペースで、お互いに助け合いながら本当に困難な状況の中、力強く生活しておられました。前日の自宅避難民の方々同様、私達を温かく迎えて頂いて活動させてもらい、挨拶の後もステージから体育館の出口を出るまで、ずっと温かい拍手で見送っていただき、私達の方がたくさんの力をもらい、感謝の気持ちで胸が一杯になると共に、これからも自分達に出来る事を考えて、いろいろな形での復興を日本全体で支援し続けることが大切だと考えました。

15時15分・・・岩手県立山田高校出発

15時40分・・・山田町ボランティアセンター（B＆G山田海洋センター）到着
ボランティアセンターの方に挨拶



高台にあるボランティアセンター駐車場から撮影した「介護老人保健施設シーサイドかる」の写真ですが、屋根の上にはポルシェが打ちあげられており、改めて津波の大きさを感じました。

16時00分・・・山田町ボランティアセンターから盛岡市へ出発

18時30分・・・盛岡市到着

5月15日（日曜日）5時20分・・・盛岡市より鳥取市へ出発

東北自動車道（盛岡）－磐越自動車道（郡山JCT）－北陸自動車道（新潟中央JCT）－名神高速（米原JCT）－中国自動車道－鳥取自動車道（智頭IC）

22時00分・・・鳥取市（水野商事）到着 走行距離 約1500km 所要時間 16時間40分
総走行距離 約3250km

22時30分・・・荷降ろし・片付け終了

22時40分・・・解散



事前打合せ・餅つき（岩倉公民館）



皆様の御協力により無事に活動することが出来ました。係わって頂いたすべての方に心から感謝の意を申し上げます。本当にありがとうございました。

最後に、私達は1日も早い被災地の復興を日々願い、復興に向けて協力を続けていきます。